

令和8年7月3日
玉川総合支所
道路・交通計画部

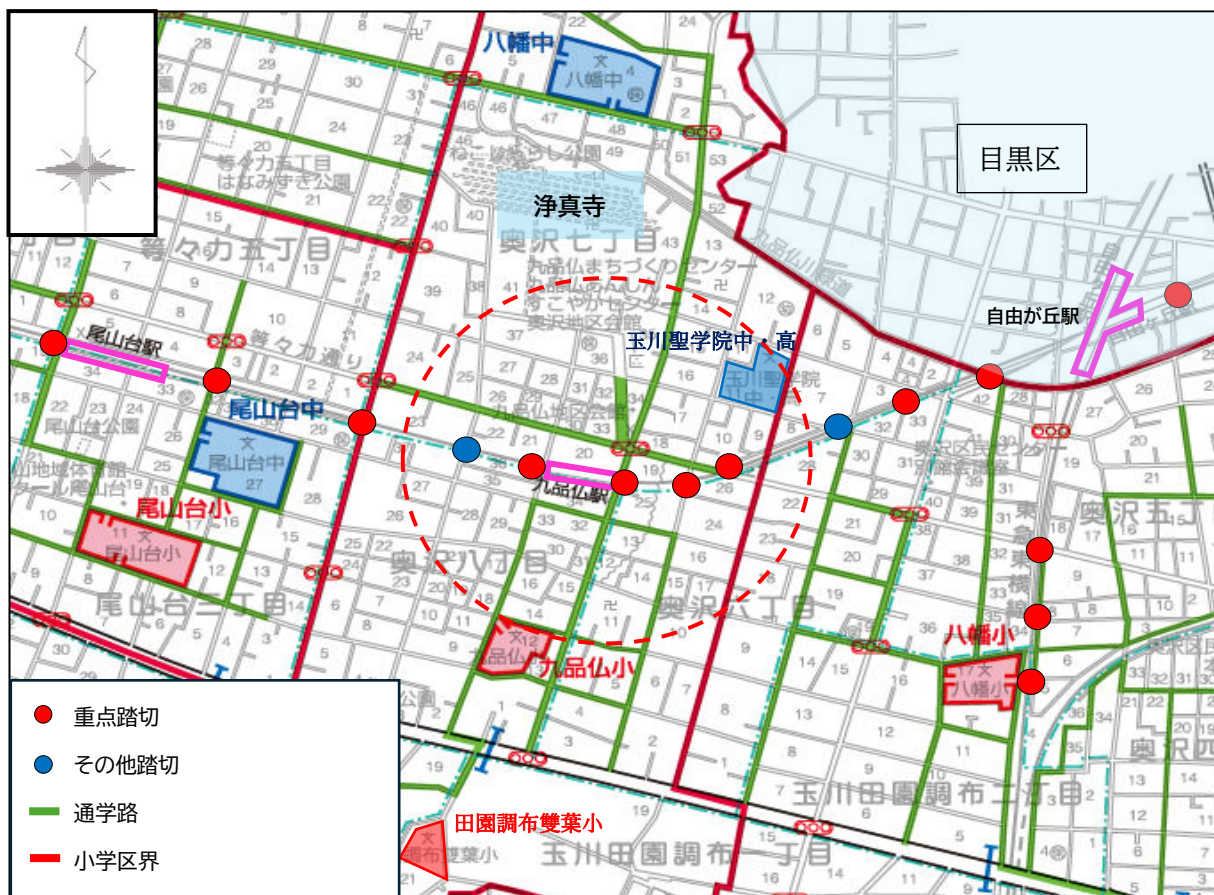
東急大井町線九品仏駅前踏切の安全対策について

1 主旨

東急大井町線九品仏駅の改札口は、鉄道上下線の踏切に挟まれた構造となっており、列車至近において利用者の滞留が生じている。駅周辺には学校も多く、通学児童も含めた地元住民の安全確保が重要な課題となっている。（別紙1参照）

こうした状況を踏まえ、区は区民からの要望と東急電鉄からの依頼を受け、東急電鉄と連携し、踏切の安全性向上に資する改善策の検討を進めてきた。このたび、安全対策方針を取りまとめたので報告する。

2 位置



3 これまでの経緯

令和 7年 9月

東急電鉄から九品仏駅周辺の安全対策に関する協力依頼受理

9月～8年2月

住民に対しチラシ配布及び説明

10月

九品仏自治会、九品仏商店会、大井町線街づくり連絡会から踏切安全対策に関する要望書受理

令和 8年 3月

東急電鉄と「東急大井町線九品仏駅周辺の安全対策に関する覚書」を締結

4 九品仏駅周辺の安全対策方針

(1) 対策の基本的な考え方

本方針は、駅周辺における滞留の解消及び鉄道利用者の安全確保を最優先とし、駅施設の改善と踏切対策を一体的に実施するものである。

(2) 対策概要

①改札前滞留空間の拡充

現在の改札位置を尾山台駅方向へ約13メートル移設し、改札前の利用者滞留空間を約24㎡から約60㎡へ拡充する。これにより、踏切間に滞留する利用者を減少させ、列車通過時の接触リスクを低減する効果が期待できる。

②ホームの延伸

ドア非扱い車両増加を解消するため、ホームを尾山台駅方向へ約37メートル延伸する。これにより、乗客の転落リスクを解消する。

(3) 対策実施に伴う周辺施設の整備

①九品仏1号踏切の閉鎖

ホーム延伸に伴い必要となる有効長を確保するため、九品仏1号踏切を閉鎖する。

②交通機能の確保（交通規制の見直し）

踏切閉鎖に伴い発生する行き止まりへの対応として、九品仏1号踏切及び九品仏2号踏切周辺道路について、一方通行規制を解除し相互通行化することで、迂回による負担を軽減させる。併せて九品仏2号踏切の有効幅員を拡げることで、歩行者の安全と地域内交通の利便性を確保する。

(4) 区の担う役割

本事業に係る費用は、東急電鉄が負担するが、一部看板設置等の安全対策に伴う費用を区が負担する。地元への情報提供については、区と東急電鉄が連携して実施する。

5 今後のスケジュール（予定）

令和 8年 7月	警視庁へ交通規制の変更要望提出
令和 9年 3月	九品仏2号踏切改良、九品仏1号踏切閉鎖
令和11年度	ドア非扱い車両の解消
令和12年度	安全対策工事竣工

6 添付資料

別紙1 九品仏駅前踏切の安全対策の概要

(1) 駅前の滞留（踏切間に滞留）

- ・ 踏切間の滞留による地域住民や鉄道利用者の触車リスク
- ・ 駅周辺に学校が多数（田園調布雙葉小学校、九品仏小学校、玉川聖学院、八幡中学校）

(2) ホームの有効長不足（一部ドア非扱い）

- ・ ホームの有効長不足により、一部のドアが非扱い
- ・ ドア誤開扉による鉄道利用者の転落リスク

利用者の滞留

①



←尾山台方

九品仏駅

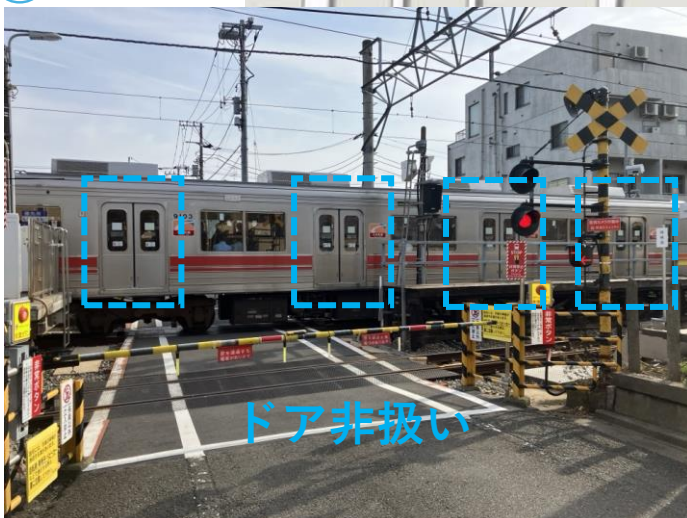
自由が丘方→

…踏切

①

4

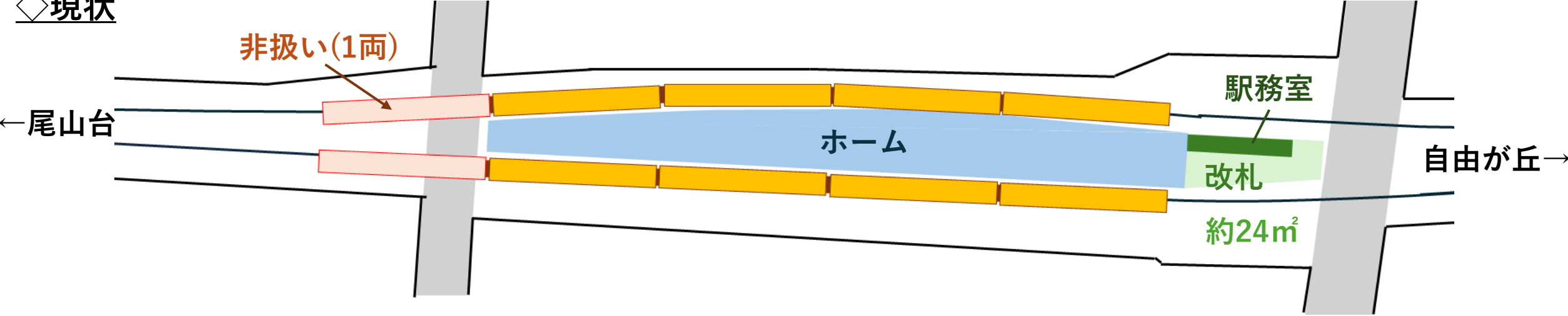
②



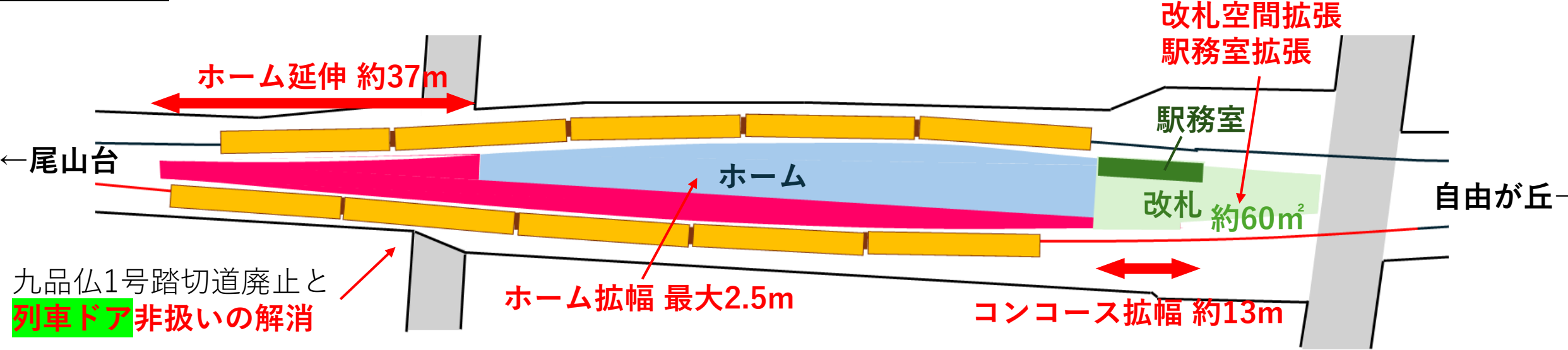
大井町線九品仏駅踏切の安全対策方針（案）【対策案】

駅前滞留空間の拡充・ホーム延伸による踏切閉鎖を実施

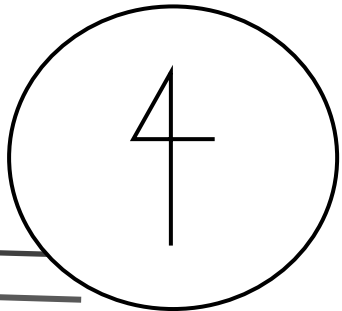
◇現状



◇駅改良後



- 一方通行→相互通行**



・九品仏 2 号踏切道改良案

